

いわき農林水産ニュース

令和2年10月号(第188号) 発行 10月29日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



マトウダイ

ヨーロッパではムニエルの代表種として知られています。産卵前となるこれらが旬ですので、ぜひご賞味ください!

目次

- ・【特集】「農業体験バスツアー-in いわき川前」を開催!p.1~
- 〔各種取組の実績(9~10月分)〕p.4~
- 〔お知らせ・連載記事〕
- ・いわき地方の出荷制限等品目p.8
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果p.8
- ・野生きのこ等の出荷・摂取制限についてp.8
- ・給食会の参加者募集中!
- ・~旧田人第二小学校南大平分校~p.9
- ・高校生が考えたオリジナルレシピを募集しています!p.10
- ・ハクビシン対策に向けた事前調査に取り組んでいますp.10
- ・いわき市の飼育豚等に対する豚熱ワクチン初回接種の終了についてp.10
- ・イベント情報p.11
- ・田んぼの学校 最終回p.12
- ・GAPコーナーp.13
- ・6次化商品紹介p.14

特集

「農業体験バスツアー-in いわき川前」を開催!

1 農業体験バスツアーを開催!

10月10日(土)・11日(日)、県内の大学生等を対象に、いわき市川前町を舞台とした1泊2日の農業体験ツアーを実施しました。

本ツアーは、県内の大学生等にいわきの中山間地域に足を運んでもらい、農業体験及び地元農家や若者との交流を通して中山間地域の魅力や課題への理解を深める契機とするとともに、新たな関係・交流人口の創出につなげることを目的とするものです。これまで首都圏の大学生を対象に実施してきた本ツアーですが、8年目となる今回は首都圏を中心とする新型コロナウイルス感染症の拡大状況などを考慮し、初めて県内の大学生等を対象に実施しました。

当日は、県農業総合センター農業短期大学校(矢吹町)、東日本国際大学、福島工業高等専門学校(ともにいわき市)から19名の学生が参加し、地元農家で農業体験やBBQ交流会、料理教室やワークショップなどを通して、地元の方々と交流を深めました。

いわき市川前町



川前町はいわきの中山間地域の一つで、人口は約920人です。

2 ツアー内容の様子

1日目

12:00 昼食

川前町の特産である希少なキジの肉を使用した絶品きじおこわを味わいました。

その後、川前地区地域おこし協力隊 三戸大輔氏に川前町の魅力や課題、地域おこし協力隊の活動内容等についてお話しいただきました。



(きじおこわ)



(三戸大輔氏による講話)

14:00 農業体験

川前町上桶売地区・下桶売地区の農家7軒に2～3名ずつに分かれ農業体験を行いました。天候はあいにくの雨でしたが、屋内での農産物の出荷作業やハウス内での野菜の苗植え作業などを体験しました。

協力農家と体験内容は右のとおりです。

協力農家	体験内容
A 根本 敏男氏	ネギの出荷作業、マメ収穫
B 根本 久子氏	米の粃摺り作業
C 石井 勝行氏	ネギの出荷作業
D 駒木根 武夫氏	玄米の出荷作業
E 青木 文子氏	小松菜等の苗植え、ニンジン収穫
F 宇佐見 鐵雄氏	ゴボウ、長芋、大根収穫
G 猪狩 光正氏	牛の餌やり



(A:ネギの根切り)



(B:米の粃摺り作業)



(C:ネギの結束)



(D:玄米の袋詰め)



(E:野菜の苗植え)



(F:長芋収穫)



(G:牛の餌やり)

18:00 BBQ 交流会

宿泊先のいわきの里鬼ヶ城 (p.13 地図参照) において、地元の方7名に参加いただきBBQを行いました。

川前町で収穫された野菜のほか、以前川前町で飼育が行われていた食用羊“サフォーク”の丸焼きが振る舞われ、川前町の食の魅力を堪能しました。

(サフォークの丸焼き→)



(食事も交流も大満足！)

2日目

9:30 料理教室・昼食

川前町の矢内照子氏を講師に迎え、川前町の食材を使用した「えごまのおはぎ」「花おはぎ」「インゲンの肉巻き」を調理し、完成した彩り豊かな「川前べっぴん弁当」を講師の皆さんとともに味わいました。



(調理の様子)



(川前べっぴん弁当)



(完成したお弁当と記念撮影)

13:00 川前町の未来を考えるワークショップ

(いわき地方振興局主催)

地元の方9名とともに「いわきの里鬼ヶ城」「磐越東線」「川前の食と農」の3つのテーマで川前町を活性化させるためのアイデアを考え、グループごとに発表しました。

なお、今回参加者から出たアイデアを参考に、引き続き川前町の住民によるワークショップが実施される予定です。



(グループワーク)



(参加者による発表)

学生から提案のあったアイデア (一部抜粋)

いわきの里鬼ヶ城

- VRやドローンを活用したPR
- 対象を限定したイベントの開催
- ポイントカードや割引券の導入

磐越東線

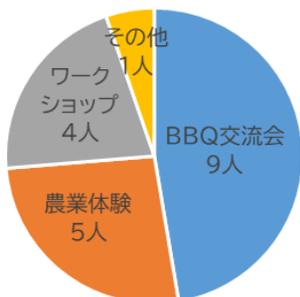
- 絶景のフォトスポットを発信
- 駅メロを利用したPR

川前の食と農

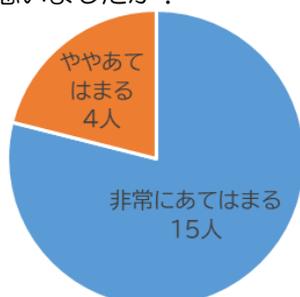
- 川前ならではのブランド品の開発
- 川前べっぴん弁当を販売
- SNSで魅力をPR

3 参加者アンケート結果

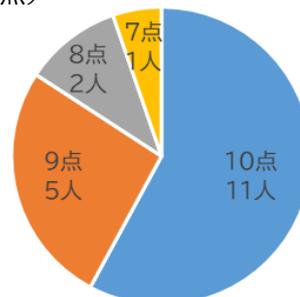
Q1.バスツアーの中で特に印象に残った内容は何ですか？



Q2.バスツアーに参加して、またいわき市川前町を訪れたいと思いませんか？



Q3.バスツアーの全体内容を点数で教えてください。(10点満点)



感想 (一部抜粋)

- 川前に行ったことがなかったけどとても楽しめたし、他の大学の人たちと交流ができて良かった。
- 実際に食べてる時には意識しなくても、農家の方の苦勞があって食卓に並ぶということを常日頃考えるようになった。
- 今回初めて川前に行って、少子高齢化や農業の担い手の不足、交流人口の少なさなど川前の現状を知り、こんなにもたくさんの魅力のあるところだからもっとたくさんの人に知ってほしい、来てほしい、住んでほしいと思った。

4 最後に

本ツアーに参加いただいた学生の皆さま並びに受入れに協力いただいた川前町の皆さまに改めて感謝を申し上げます。

今後も参加者が川前町のイベントに足を運ぶなど、地元の方々との交流が継続されることを期待しています。(企画部・いわき地方振興局)



木とのふれあい創出事業出前講座を実施

〔10月2日(金)〕

森林環境税を活用して木工工作指導等を行う、木とのふれあい創出事業出前講座をいわき市立渡辺小学校(p.13 地図参照)で実施しました。

3年生は主に釘打ちの練習、4年生は釘打ちとのかぎりの使い方を学びました。講師として当所の職員のほか、田人林業研究会から緑川平隆氏と豊田和弘氏を招いて、木工についてのより詳しい技術なども教えていただきました。また、遠野興産株式会社から端材を提供していただき、たくさんの木材とふれあう時間になりました。



(釘打ちの練習)

子どもたちは、普段あまり使わない道具を使ってものを作り上げることに目を輝かせていました。

(森林林業部)

先山ゼロ災推進安全巡回指導を実施

〔10月2日(金)〕

林業労働災害ゼロを目指して、関係機関の連携により毎月1回実施している先山ゼロ災推進安全巡回指導(第3回)が三和町で実施されました。

今月は、チェーンソーを使用した伐採作業の現場において、安全衛生指導員のアドバイスのもと、防護ズボンの着用や「かかり木処理」の禁止事項(かかっている木の伐倒、浴びせ倒し等)について、参加者全員で再確認しました。



(巡回指導の様子)

秋が深まり、伐採作業が本格化する時期を迎えます。現場作業に従事される皆さまには、今後とも基本動作の励行をよろしくお願いいたします。

(森林林業部)



タイ国著名人によるふくしまの魚の取材

〔10月5日(月)〕

現在タイで活動している映画俳優の大関正義さん(郡山市出身)が東北のハワイ「いわき」へ来訪しました。当日は、沼之内地方卸売市場(p.13 地図参照)や地方卸売市場小名浜魚市場(p.13 地図参照)、地元鮮魚店へ立ち寄り、福島県の魚介類の特徴や安全性を海外へPRするための取材を行いました。市場では、常磐ものの代表種である「ヒラメ」はもちろんのこと、近頃いわきにて多く水揚げされる「イセエビ」について特に興味を持ち、漁業関係者に対して熱心に質問をしていました。なお、取材動画は12月頃にAyatar(タイ国向けYoutubeチャンネル)にて公開予定です。



取材動画の撮影風景(沼之内地方卸売市場、左から2人目が大関さん)

このほかにも、県では県産水産物への風評払拭のための取組として、地元漁業者出演の海外向けPR動画を作成・発信しています。(水産事務所)

農業用施設巡りバスツアー

〔10月5日(月)〕

いわき市勿来地区土地改良区が主催する農業用施設巡りバスツアーが開催され、勿来地域の住民17名が参加しました。

本イベントは、^{みどり}水土里を育む普及促進事業を活用して、いわき市勿来地区土地改良区が管理及び関連する施設等をバスで巡りながら、施設の役割や管理の重要性を学ぶとともに、受益地内の各種取組を見学し、農業農村への理解を深めるものです。今回は、田んぼアート、大谷揚水機場、井上堰頭首工、沼部ポンプ場、農業型ソーラー発電を視察しました。

参加者は、農地を活用した田んぼアートや、田んぼを潤す井上用水路のはじまりである井上堰頭首工、耕作放棄地を利用した先進的な取組である農業型ソーラー発電等を見学し、農業農村の役割等について理解を深めていました。(農村整備部)



(田んぼアート見学)



(井上堰頭首工見学)



(農業型ソーラー発電見学)

常磐ものフェア出展者による産地ツアー [10月7日(水)]

県産水産物の魅力のPR、販路拡大につなげるため、バイヤーを対象にした産地ツアーを開催しました。ツアーには首都圏の飲食店関係者 18 名が参加し、沼之内地方卸売市場と地方卸売市場小名浜魚市場にて水揚げ状況を視察した後、地元漁業関係者との交流を行いました。交流の場では、旬の常磐ものを使った料理(弁当)が提供され、十二分に常磐ものの魅力をPRすることができました。



漁業関係者と飲食店関係者の交流風景
(小名浜地方卸売市場)

本ツアーは首都圏飲食店(全 135 店舗)にて10月15日から12月23日まで開催される「常磐ものフェア」の一環として実施しました。「常磐ものフェア」ではGo To Eatキャンペーンが後押しとなり、県産水産物の知名度が向上することを期待しております。首都圏の知人等への宣伝のご協力をよろしくお願いします。(水産事務所)

トピック1

「福、笑い」の収穫が行われました！

清々しい秋晴れの中、本県オリジナル水稲新品種「福、笑い」の収穫作業が行われました！

7月には幼穂形成期を迎えて、日照不足と低温による生育への影響が心配されましたが、出穂後は好天に恵まれたため成熟が順調に進み、倒伏も確認されていません。収穫日には報道機関が取材に訪れるなど、本県産米のトップブランド品種「福、笑い」への関心の高さがうかがえました。収穫された「福、笑い」は玄米タンパク質 6.4%以下という食味・品質基準を満たしていたため、今後県内の百貨店やスーパー等で販売予定です。



(「福、笑い」の収穫の様子)

ぜひこの機会にご賞味ください！

(農業振興普及部)



**「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」
いわき地方推進本部令和2年度総会について** 〔10月12日(月)〕

いわき地方推進本部の令和2年度総会は、議案第1号「令和元年度事業報告」、議案第2号「令和2年度事業計画(案)」の2件の議案について、構成員(33 機関・団体)による書面審議のうえ、可決成立しました。

議案第1号では、「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」の4つの運動(①食の安全・安心運動、②生産再生運動、③風評払拭・消費拡大運動、④情報発信運動)に関する令和元年度事業報告が承認されました。

議案第2号は、いわき市の「いわきのめぐみ棚」設置による各種プロモーションをはじめ、いわき商工会議所の「いわき支え合いキャンペーン」、当所の「高校生発!いわきテイクアウトメニュー開発事業」など新型コロナウイルス感染症対策に対応した新規事業が盛り込まれた令和2年度事業計画が承認されました。(企画部)

福島県森林組合連合会良質材展示会の審査を実施 〔10月14日(水)〕

いわき木材流通センター(p.13 地図参照)において、第23回福島県森林組合連合会良質材展示会に出品された原木の審査が行われました。この展示会は、生産技術の改善向上と商品価値を高め、森林組合連合会の共販所の優秀性を広く紹介するとともに、木材需給の安定に寄与することを目的に開催されます。



(審査の様子)

今年はいわき市内や古殿町などから65点が出品され、そのうち1次審査を通過した27点について審査が行われました。その結果、林野庁長官賞に石嶋商事(田村市)、知事賞に水野悦男氏(古殿町)の原木がそれぞれ選ばれました。このほか、関東森林管理局長賞など6点が選ばれました。入賞された方々は、11月15日(日)の第45回福島県林業祭において表彰される予定です。(森林林業部)

サンシャインいわき梨祭り

〔9月15日(火)〕

学校法人まこと学園 まこと幼稚園(p.13 地図参照)において、令和2年度サンシャインいわき梨祭りがJA福島さくらいわき梨部会の主催により開催されました。いわき市、JA全農福島、JA福島さくらいわき地区本部、株式会社平果が出席し、園児へ「豊水」が贈呈され、園児からはお礼の言葉と感謝状が贈られました。また、まこと幼稚園の先生方により梨の栽培について人形劇が行われ、園児たちは梨への理解を深めていました。(農業振興普及部)



(なしポチとの記念撮影)

お知らせ

いわき地方の出荷制限等品目

令和2年9月末日現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷が制限等されている品目は(表)のとおりです。

(表) 農林畜水産物の出荷制限等品目 (令和2年9月末日現在)

制限、自粛	区 分	品 目
出荷制限	山 菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、 わらび(野生のものに限る)*、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ
出荷自粛	山 菜	さんしょう(野生のものに限る)

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。

(企画部) ※わらび(栽培)は該当生産者15名のほ場に限り出荷制限が解除されました。

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和2年9月分)

□ 農林畜産物の検査結果

令和2年9月の農林畜産物モニタリング検査では、検査した10品目76検体すべてにおいて放射性セシウムが基準値(100Bq/kg)を超えたものはありませんでした。内訳は(表)のとおりです。(企画部)

(表) 放射性セシウムが基準値以下の品目と検体数

菌床しいたけ(施設)6、菌床なめこ(施設)1、原木しいたけ(施設)1、ツルムラサキ1、日本ナシ1、ブドウ(施設)1、イチジク1、クリ3、玄米60、原乳1

□ 海産魚介類の検査結果

令和2年9月の水産物モニタリング検査では、104検体の魚介類を検査し、放射性セシウムが基準値(100Bq/kg)を超えたものはありませんでした。(水産事務所)

野生きのこ等の出荷・摂取制限について

野生きのこが多く発生する時期を迎えていますが、現在のいわき市においては、「野生きのこ」の全種と「原木なめこ(露地)」が出荷制限の対象、また「野生きのこ」については摂取制限の対象にもなっておりますので、次の点に留意してくださるようお願いいたします。

1 出荷制限について

対象の品目は、地域全体としての安全性が確認されていないことから、出荷制限は今シーズンも継続しています。そのため、

- 団体等や個人においての自主検査により「基準値(100Bq/kg)以下」であっても出荷や販売等はできません。
- 無償で譲渡することや、インターネット(フリマアプリ等)による個人売買も出荷に該当するためできません。
- 出荷・販売だけでなく、飲食店や宿泊施設等での提供や加工用原材料としても使用できません。

2 摂取制限について

自家用の食材とすることも控えていただくようお願いいたします。

3 栽培きのこについて

「原木なめこ(露地)」以外の栽培きのこは、栽培前に生産資材(きのこ原木・ほだ木、菌床等)の安全性の確認を県の検査機関において実施します。国が定める当面の指標値(きのこ原木・ほだ木50Bq/kg、菌床200Bq/kg)以下で安全性が確認できた生産資材のみ、販売目的のきのこ栽培に使用することができます。

また、発生したきのこは、出荷・販売前に県によるモニタリング検査を受ける必要がありますので、きのこ栽培の開始・再開を検討されている場合は、森林林業部(TEL 0246-24-6193)までお問い合わせください。

(森林林業部)

いわき市産きのこの出荷制限等品目

出荷、摂取	品 目
出荷制限	野生きのこ、原木なめこ(露地)
摂取制限	野生きのこ

※市町村毎に出荷制限品目等が定められていますので、詳細は県のHP(<http://www.new-fukushima.jp>)でご確認ください。

県内の野生きのこ出荷制限市町村

(55市町村)





給食会の参加者募集中！ ～旧田人第二小学校南大平分校～

田人町大平地区では、住民同士の交流、地区外からの来訪者との交流のきっかけをつくり、高齢者等の生きがいづくりとまちづくりの担い手育成に繋げるため、旧田人第二小学校南大平分校を活用した「旧食会（給食会）」が開催されています。

給食メニューはいわき市教育委員会で実際に使われている献立をもとに、地元の飲食店「チャンドメラ+MOMO café」がメニューを考案、「田人おふくろの宿」が調理しています。

9月28日（月）に開催された第1回では、田人産・いわき産の食材がふんだんに盛り込まれた、秋を感じる給食メニューが提供されました。

9/28の給食メニュー

- *栗ごはん
- *おあげとなっばの炊いたん
- *いちじくのコンポート
- *…田人産の食材を使用したメニュー
- とり肉の酢マリネ
- 豚汁

<給食会 詳細>

■会 場：旧田人第二小学校南大平分校（p.13 地図参照）

■参加費：無料

■対 象：福島県民

※日時は、南大平分校 Facebook（<https://www.facebook.com/Minami.Oh.Daira>）にてご確認ください。

※参加には事前のご予約が必要です。お問い合わせは磐城高箸（TEL 0246-65-0848）まで。

今後も、月に1～2回程度開催される予定です。懐かしい給食を食べながら、ゆるやかな交流をぜひお楽しみください♪（いわき地方振興局）



〔アルマイト食器と先割れスプーンを使うなど、細部までこだわりが満載！！〕



〔教室では勿来工業高校美術部の黒板アートが迎えてくれます。〕



〔実際に過去に使われていた教室が、給食会の会場です。〕



〔美味しい給食や懐かしい「いただきます」のかけ声に、自然と笑顔がこぼれます。〕

高校生が考えたオリジナルレシピを募集しています！

当所では、いわき市内の高校生と協力店（飲食店及びスーパー計5店舗）が共同で新しいテイクアウトメニューを開発する「高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」事業を実施します！
高校生の皆さんのアイデアを基に商品化を行いますので、ぜひオリジナルレシピをご応募ください！

■募集内容

いわき市産トマト・きのこ・ネギ・Iwaki Laiki（米・米粉）を使用したテイクアウト可能なオリジナルレシピ

※テイクアウトメニュー開発のため食材はすべて加熱する必要があります。その他、協力店により条件がありますので、当所HP（<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/iwaki-takeout.html>）で募集要項をご確認ください。

■応募方法

応募用紙に商品開発を希望する協力店やオリジナルレシピなど必要事項を記入の上、作品の写真2枚を添付し、郵送またはEメールにてご応募ください。
なお、応募用紙等は当所ホームページからダウンロードしてください。



いわき農林事務所
ホームページはこちら

■応募先&お問い合わせ

〒970-8026 いわき市平九品寺町 1-13 優和ビル 2F
株式会社福島インフォメーションリサーチ&マネジメント
「高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」係
Eメール：info@f-irm.com
TEL：080-5738-1433（平日9：00～16：00 受付）

■募集期間

令和2年11月11日（水）必着

■協力店（50音順）

- ・ピストロ あん庵
- ・中華料理 華正樓
- ・ダイニングキッチン 月海-Ruu-
- ・酒と食の工房 ピッコロ
- ・株式会社 マルト

■主 催 福島県いわき農林事務所

（受託会社：株式会社福島インフォメーションリサーチ&マネジメント）
（企画部）



ハクビシン対策に向けた事前調査に取り組んでいます

近年、梨やブドウなどの果樹へのハクビシン被害が増えています。一般的なハクビシン対策として電気柵の設置が挙げられますが、周囲の草刈り等の維持管理に労力を有するため、やみくもに設置することは効率的ではありません。効率的かつ効果的な対策を行うためには、まずはハクビシンの侵入経路や出没頻度、時期別の被害程度等について情報収集することが重要です。

農業振興普及部では、被害の拡大が心配される梨園地にセンサーカメラを設置し、ハクビシンの侵入経路及び被害状況調査を行っています。今後はこれらの結果を基に、生産者とともにハクビシン対策に取り組んでまいります。
（農業振興普及部）

いわき市の飼育豚等に対する豚熱ワクチン初回接種の終了について

いわき市で飼育されている豚等を対象とした豚熱ワクチンの初回接種が、令和2年10月9日（金）から10月21日（水）まで7農場で実施され終了しました。

なお、県内全域では、令和2年9月14日（月）から10月23日（金）まで、78農場の115,085頭で実施され終了しています。

今後は、繁殖豚の補強接種や新たに出生した子豚への接種を継続してまいります。
（農業振興普及部）

トピック2

「いわき産農産物で“元気になるおうちごはん”プロジェクト」がスタート！！

いわき市では、市産農産物の風評対策プロモーション活動として、「いわき産農産物で“元気になるおうちごはん”プロジェクト」を10月1日から展開しています。

プロモーション活動の内容は、市内の量販店（マルト・ヨークベニマル・イオン）と連携し、市産農産物を陳列する常設棚「いわきのめぐみ」棚、規格外の野菜を販売するための「なんだこりゃ！野菜」棚の設置や販売促進のための店頭フェアを実施します。

9月24日にはいわき市文化センターにおいて、プロジェクトの応援チーム「いわきのめぐみ伝え隊！」の発足・団結式が行われ、清水市長から隊長の武田玲奈さん（いわき市出身の女優・モデル）、隊員である市内の生産者や福島県立磐城農業高等学校の生徒（当日は担任の先生が代理出席）、いわき野菜アンバサダーの代表者、市の農産物をPRするマスコットキャラクターのアグリ☆ファイブなどに任命証が交付されたほか、清水市長と武田さんによるトークセッションや武田さんが出演するサイネージ動画のお披露目などが行われました。



隊長に任命された
武田玲奈さん

- ① “いわきのめぐみ伝え隊！” 発足・団結式の様子はこちら↓
<https://youtu.be/edhEkIZasOM>
- ② 武田隊長出演のサイネージ動画はこちら↓
<https://youtu.be/wtQkJXrr76Y>



10月1日より設置された「いわきのめぐみ」棚
※写真はイオンいわき店



「いわきのめぐみ伝え隊！」の任命式の様子
(企画部)

イベント情報

第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

- 日 時：令和2年11月7日（土）10:00~15:00
- 場 所：21世紀の森公園（p.13 地図参照）
いわきドリームチャレンジ2020会場内
- 主 催：福島県いわき農林事務所

県産農産物・認証GAPに関するアンケートに回答いただいた先着200名様にいわき産の新米などをプレゼントします。

そのほか、認証GAPの取組や浜通りの復興状況のパネル展示やキッチンカーによるGAP認証農産物を使用したメニューの試食も予定しています。

当イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底した上で実施します。
※荒天等により中止となる場合があります。（企画部）

11月7日(土)開催
おいしいふくしま
いただきます
Dishii Fukushima Itadakimasu
キャンペーン
日時・場所
☆11月7日(土) 10時~15時
☆21世紀の森公園
いわきドリームチャレンジ2020会場内
(グリーンフィールドメインゲート前、多目的広場)
キャンペーン内容
※認証GAPの取組紹介や浜通りの復興状況のパネル展示
※県産農産物・認証GAPに関するアンケート
アンケートにお答えいただいた方に、いわき産農産物・ミニトマト（GAP認証
農産物）及びトマトジュース（GAP認証農産物使用）をプレゼント！
そのほか、生活に役立つグッズのプレゼントもあります。（先着200名）
※GAP認証農産物を使用したメニューの試食
※当イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底した上で実施します。
※荒天等により中止となる場合があります。
※お問い合わせ先
福島県いわき農林事務所企画課
〒970-8001 いわき市大字東1-1
電話：0246-24-4117

田んぼの学校

最終回

マコモダケの収穫・閉校式を実施！

9月29日(火)

いわき市立菊田小学校 (p.13 地図参照) 5年生児童 80 名が、マコモダケの収穫体験及び閉校式を行いました。

児童たちは、地元応援団から食べ頃を迎えたマコモダケの見分け方や収穫の方法などの説明を受け、9人1組で収穫作業に挑戦しました。はじめは、食べ頃のマコモダケの見分け方や鎌の使い方に苦労していた児童たちでしたが、慣れてくると「ここにもあった！」「私も刈りたい！」と積極的に取り組み、楽しみながら鎌でマコモダケを刈り取っていました。

収穫作業終了後、各クラスの児童たちから感想を発表してもらい、最後に菊田小学校校長より閉校の挨拶をいただきました。感想発表では、地元応援団への感謝や収穫の喜びなどが述べられ、田んぼの学校を通じ児童たちの成長が感じられました。(農村整備部)



(収穫の様子①)



(収穫の様子②)



(感想発表)

トピック3

「いわきハタチ酒プロジェクト・第3期」稲刈り！



二十歳の年の参加者が、酒米作りから酒造りまでを体験して、完成したお酒で二十歳を祝う「いわきハタチ酒プロジェクト」。今年で3年目の活動は、9月20日(日)に稲刈りを行いました。

今期はコロナ禍のスタートとなり、参加者募集も例年通りにはできなかったため、少人数の参加となってしまいました。昨年までの稲刈りは手刈りで実施していましたが、今年は人数が少ないことを逆手に取って「コンバインに試乗しての稲刈り」を企画しました。が(!)、稲刈り間際になってコンバインが故障・・・やむなく、体験作業はコンバインが入る部分の「寄せ刈り」のみとなりました。このトラブルの経験は、来期の活動に反映させたいと思っています。

後日、稲刈りをしたところ、収量は昨年より3割増になっていました。

プロジェクトでは、今後は2月頃に酒造り体験を行う予定ですが、それまでの間にも、日本酒文化や稲作文化を知ってもらうため、色々とイベントを企画中です。



(今期参加者と実行委員)



(昼食は酒米と飯米の食べ比べ)

★ PR ★

第2期のハタチ酒は、夏を越えて味わいが深くなった「秋あがり」が販売中です。何といたってもこれからの季節は「お燗」がおすすめ。お燗は面倒なイメージがありますが、ハタチ酒は「燗」ならどの温度帯でも楽しめますので、形を気にせず自由にお試しを。



(ハタチ酒「秋あがり」)

市内販売店：あわのや酒店・酒のいとう・酒のまるとみ・さわきや・タイハイ酒店・丸伊酒店・矢吹酒店 (企画部)

GAP コーナー

GAP (Good Agricultural Practice) : 「農業生産工程管理」

いわき地方におけるGAP推進状況について

本県では平成 29 年 5 月 15 日に、GAP 認証日本一を目指して行われた「ふくしま GAP。チャレンジ宣言」を受けて、平成 29 年度から令和 2 年度までを GAP 推進期間と位置づけ、全県的に GAP の導入推進を図っています。

当所においては、関係機関・団体を構成員とした「いわき地方 GAP 推進協議会」を設置（平成 29 年度）し、生産者に対する GAP 取得支援や消費者に対する GAP の PR 活動を実施してきました。

その結果、米、トマト、ねぎ、いちご、なし等、29 件の GAP 認証（令和 2 年 9 月末現在）を実現しているとともに、GAP を取得した生産者からは、「従業員の意識が向上した」「肥料や農薬在庫の無駄がなくなった」との声も挙がっています。

さらに、現在 15 名の生産者が年度内の認証 GAP の取得に向けて、着々と帳票類の作成や整理整頓に取り組んでいます。

本年度は推進期間最終年度であり、当所としても、GAP 取得による農業経営の合理化、いわき市産農産物の安心安全確保のため、引き続き GAP の取得推進を支援してまいります。（農業振興普及部）

今月号に掲載した場所はここです！

- ① いわきの里鬼ヶ城 (p.2)
川前町上桶売小久田 73-3
- ② いわき市立渡辺小学校 (p.4)
渡辺町田部岸 18
- ③ 沼之内地方卸売市場 (p.5)
平沼ノ内浜街 186
- ④ 地方卸売市場小名浜魚市場 (p.5)
小名浜字辰巳町 41
- ⑤ いわき木材流通センター (p.7)
遠野町深山田字柳久保 28-2
- ⑥ 学校法人まこと学園 まこと幼稚園 (p.7)
常磐湯本町宝海 133-7
- ⑦ 旧田人第二小学校南大平分校 (p.9)
田人町南大平字坪内 95-1
- ⑧ 21 世紀の森公園 (p.11)
常磐湯本町上浅貝 110-33
- ⑨ いわき市立菊田小学校 (p.12)
山田町林崎前 56
- ⑩ いわきワイナリーガーデンテラス&ショップ (p.14)
好間町中好間字半貴沢 34-72



こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します！

認定NPO法人みどりの杜福祉会いわきワイナリーでは、赤、白、梨、樽熟成、スパークリング等のこだわりのワインのほか、いわき産農産物などを使用した手作りジャムを販売しています。

いわき産の梨を使用したスパークリングワインは、アルコール度数が7.5%と一般的なワインよりも低めで、お酒が苦手な人でも飲みやすくなっています。のどごしがよく、梨のさわやかな風味がやさしく香り、辛口ですっきりとした味わいです。

手作りのジャムは10種類のフレーバーがあり、素材となる農産物が旬で最もおいしい季節に合わせて製造しているため、素材そのもののおいしさを味わえます。特に「手作りぶどうジャム」はワイン用に自家農園で栽培したぶどうを使用しており、芳醇な香りとさわやかな酸味を楽しむことができます。

ワイン・ジャム各種はいわきワイナリーガーデンテラス&ショップなどでご購入いただけます。是非ご賞味ください。



販売価格・取扱店舗	
	スパークリング梨ワイン(豊水・新高) 700ml 2000円(税別) 375ml 1000円(税別) <取扱店舗> オンラインショップ いわきワイナリーガーデンテラス&ショップ、 市内の酒屋などの小売店、市内観光施設など
	手作りジャム各種 110g 350円(税別) ※「手作りぶどうジャム」を含む 一部商品は 110g 450円(税別) <取扱店舗> いわきワイナリーガーデンテラス&ショップ 道の駅よつくり港、未来キッチン ※季節によって販売されている ジャムのフレーバーが異なります。

お問い合わせ
いわきワイナリーガーデンテラス&ショップ
 住所：いわき市好間町中好間字半貫沢34-72
 営業時間：11:00～16:00(不定休)
 TEL:0246-36-0008
 オンラインショップ：<https://mirai.theshop.jp/>

所在地は p.13 のマップを参照



編集後記

10月に入り、朝夕はめっきり涼しい季節になりましたが皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今月は、当所主催のバスツアーにスタッフとして参加し、県内の学生や川前町の方々と、とても有意義な時間を過ごすことができました。ただ、BBQ 交流会でのサフォークの丸焼きを食べられなかったことがとても残念でした…。

また、来月7日は、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しますので、皆さまぜひお越しください(*^_^*) (企画部 T.S)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
 福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
 〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
 (県いわき合同庁舎 3階)
 TEL (0246)24-6152 FAX (0246)24-6196
 URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース